

1	審議会名	武石地域協議会
2	日 時	平成 20年 10月 29日 午後 7時 00分から午後 9時 05分まで
3	会 場	武石地域自治センター 2階会議室
4	出席者	新井繁雄委員、井出守雄委員、伊藤隆子委員、上野正司委員、柿畠祐子委員、清住章雄委員、小山洋江委員、桜井敏昭委員、佐藤栄作委員、城下ゆかり委員、高田忍委員、滝沢由美子委員、中嶋和夫委員、橋詰真由美委員、曲尾行雄委員、松代典之委員、依田せつ子委員（欠席者 3名）
5	市側出席者	宮下センター長、広川地域振興課長、山口市民生活課長、伊藤健康福祉課長、近藤産業観光課長、桜井建設課長、児玉教育事務所長、児玉地域政策係長、掛川主事
6	公開・非公開等の別	公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	20年 11月 6日 作成部局課名 武石地域自治センター 地域振興課

協 議 事 項 等

- 1 開会（広川課長）
- 2 会長あいさつ（桜井会長）
- 3 センター長あいさつ（宮下センター長）
- 4 協議事項
 - ・部会活動の報告について

地域振興基金を使って行う武石地域に必要な事業（地域予算）について、各部会で 8～10 月にかけて協議した内容を部会長から報告。

【報告要旨】

＜地域振興部会での主な意見と担当課からの意見＞

 - ・水利不便地域への大型貯水槽（60～80m³級）の設置（地元自治会の要望による）
 - ・獣害防止柵の設置（武石全域）（国・県の補助対象以外を地域予算で対応は可能と考える）
 - ・獣害対策として捕獲した鹿等に対する補助金（平成 21年度から一般会計で予算要求予定）
 - ・番所ヶ原スキー場リフト改修工事（練馬区の指定管理者に対する考え方による）
 - ・雲溪荘改修（エレベーター、露天風呂、トイレ付部屋等）工事（雲溪荘の今後の方針内容による）
 - ・美しい国スキー場の既存建物撤去（当面現状のままとする）
 - ・堆肥センター（生ごみ処理）改修（建替えと併せて検討するが、当面は現施設を維持補修していく）
 - ・土手等市有地の草刈整備（協働の精神の下、草刈等は地域で行っていただきたい）
 - ・荒廃農地解消のための大型機械補助（市の補助対象以外を地域予算で対応は可能と考える）
 - ・既存公園の遊具等の整備（保護者等からの要望により一般会計で対応する） 等

＜市民生活部会での主な意見と担当課からの意見＞

 - ・御柱祭おねり保存のための補助金（1回 600万円×5回分・30年分を基金として積み立てる）
 - ・通学路で歩道設置不可能な箇所へのカラー舗装（自治会等で要望があれば一般会計で対応可能）
 - ・ボランティアコーディネーターの育成・配置（社会福祉協議会で設置済み）
 - ・武石診療所の維持・継続（別途独自基金があるため、ある程度の現状維持は可能）
 - ・保育園庭への遊具の設置（要望があれば、本庁担当課において一般会計で予算要求すべき）
 - ・遠距離通学者への交通費補助の継続（現在、市全体で調整中。地域で要望があれば検討する） 等

＜平成 20年度から行っている地域予算激変緩和実施事業（案）＞

項目	実施内容	激変緩和期間	年間見込事業費
うつくしの湯利用補助券	大人 1人 200円× 5枚	3年間	2,000千円
雲溪荘利用補助券	宿泊 1,000円、日帰り 500円	3年間	2,000千円
雲溪荘高齢者利用券	70歳以上 6,000円	3年間	3,000千円
番所ヶ原スキー場リフト補助	1日・回数・シーズン券の地域優待	3年間	1,200千円
土地改良事業負担金	土地改良負担金の軽減 7.9%	5年間	5,000千円
土地改良事業負担金	頭首工等改修事業負担金 0%	8年間	1,000千円

【質疑・意見】

・ 部会の意見について

（委員）御柱祭のおねりの装束・道具を役柄ごとに整理し、展示できるような場所をつくり、誰もがいつでも見られるようにしてもらいたい。

（委員）通学路のカラー舗装は沖自治会以外でも要望はあると思うが、対応してもらえるか。

（建設課長）上武石にも歩道がなく、要望があれば対応していきたい。できれば、自治会や PTAを中心に地元でボランティア作業（コロペタ）をお願いしたい。（市は資材提供）

（委員）早急に進めてもらいたいのは、獣害防止柵の設置である。地区によって距離も異なり、高齢化で労力も減っている。地区全体を実施できなくて個人で実施した場合、地域予算で対応できるか。

（産業観光課長）現在、自治会宛に実施希望調査を行っており、3自治会から申請が出ている。地区全体でなくても、地区の一部で実施することも可能。個人で設置したものについては、市の補助制度があり、個人への補助を地域予算で出すのは問題がある。

（委員）獣害防止柵については、規模など一定の基準を設けた方がよいのではないか。

（委員）公園への遊具の設置については、具体的にアンケートを実施するなどして早急に対応してもらいたい。

（建設課長）保育園にも協力してもらい、保護者にアンケートなどを実施し、要望を把握していきたい。

（委員）としび公園建設時、子どもが自分たちで考えて遊ぶようにと遊具は少なくした経過もある。それも踏まえてアンケートを実施していただきたい。

（委員）スキー場利用者の大半は、練馬区の皆さんである。施設の存続のためにも、上田市と練馬区の関係をもっと親密していただきたい。

・ 激変緩和実施事業について

（委員）実施期間はこの程度がよいのではないか。温泉施設やスキー場など、期間終了後は経営者側で対策を考えてもらえばよいのではないか。

（委員）他地域では温泉利用券などは出していないのか。

（産業観光課）真田地域は振興公社が独自で利用券を出している。

（健康福祉課）市では、高齢者クラブ加入者にあいそめの湯の1回分の無料券が出ている。

（委員）温泉は、行きたい人はお金を払ってでも行くと思うので、このくらいの期間が妥当ではないか。

（会長）期間については、この程度が妥当という意見が出たが、よろしいか。

－ 一同同意 －

5 その他

（会長）11月 25日に福島県白河市の東地域協議会から視察の依頼が来ている。正副会長と部会長、希望する委員で対応したい。

6 閉会（小山副会長）